

グローバルREITウィークリー



2020年11月第2週号(2020年11月9日発行)

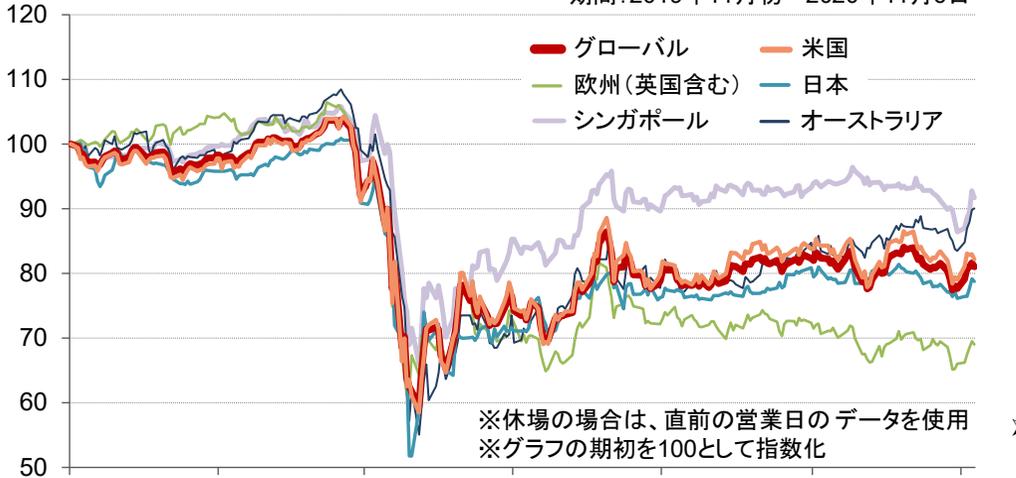
先週(11月2日～11月6日)のグローバルREIT市場の動き

先週は、世界的な景況感改善期待や米大統領選でのバイデン氏の勝利観測から投資家心理が改善し、グローバルREITは、全体では前週末比+4.3%となりました。

- 米国では、大統領選でのバイデン氏優勢を受け、市場で追加景気対策への期待が高まったことや、議会選挙において上下両院での「ねじれ」の可能性が強まり、民主党が主張する増税などの政策実施が困難との観測などが好感され、株価が大きく上昇するなか、REITも堅調に推移しました。
- 欧州では、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けたロックダウン(都市封鎖)の動きが相場の重しとなっているものの、米大統領選の動向を受けて世界的に投資家のリスク選好姿勢が強まるなか、REITは堅調に推移しました。英国で予想を上回る規模の量的緩和策のほか追加景気支援策が発表されたことや、ユーロ圏で12月の追加緩和策への期待が高まっていることなども、支援材料となりました。
- オーストラリアでは、中央銀行が政策金利の引き下げと追加量的緩和策を発表し、市場予想を上回る内容だったことなどが好感され、REITは大きく上昇しました。

各国・地域のREIT価格の推移

期間:2019年11月初～2020年11月6日



※休場の場合は、直前の営業日のデータを使用
※グラフの期初を100として指数化

※信頼できると判断したデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成

各国・地域別のREIT市場および為替の動き

▶2020年11月6日時点(1週間前=10月30日、3カ月前=8月6日、6カ月前=2020年5月6日、1年前=2019年11月6日、3年前=2017年11月6日)なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

| 国・地域 | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|----------|----------|--------|------|------|-------|-------|
| | | 週間 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 |
| グローバル | 533.00 | 4.3 | ▲0.4 | 11.3 | ▲17.7 | 1.3 |
| 米国 | 1,244.80 | 4.0 | ▲1.4 | 12.7 | ▲16.1 | 1.6 |
| カナダ | 1,026.18 | 3.5 | ▲0.5 | 7.0 | ▲21.4 | 4.5 |
| 欧州(ユーロ圏) | 434.74 | 4.6 | ▲7.8 | ▲6.5 | ▲42.4 | ▲38.1 |
| 英国 | 78.12 | 4.5 | ▲3.0 | 4.8 | ▲18.8 | ▲7.2 |
| 日本 | 431.01 | 3.4 | 2.1 | 10.8 | ▲20.4 | 19.0 |
| 香港 | 746.19 | 5.7 | 2.7 | ▲6.4 | ▲24.0 | 1.9 |
| シンガポール | 698.75 | 6.2 | ▲2.2 | 9.2 | ▲7.8 | 16.1 |
| オーストラリア | 839.85 | 7.9 | 14.6 | 27.1 | ▲8.9 | 24.0 |

| 為替(対円) | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|------------|--------|--------|------|------|------|-------|
| | | 週間 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 |
| 米ドル | 103.35 | ▲1.3 | ▲2.1 | ▲2.6 | ▲5.2 | ▲9.1 |
| カナダ・ドル | 79.09 | 0.6 | ▲0.3 | 5.4 | ▲4.3 | ▲11.6 |
| ユーロ | 122.71 | 0.6 | ▲2.1 | 7.1 | 1.7 | ▲7.0 |
| 英ポンド | 135.98 | 0.3 | ▲2.0 | 3.8 | ▲2.9 | ▲9.2 |
| 香港ドル | 13.33 | ▲1.2 | ▲2.1 | ▲2.6 | ▲4.3 | ▲8.5 |
| シンガポール・ドル | 76.65 | 0.1 | ▲0.6 | 2.6 | ▲4.4 | ▲8.2 |
| オーストラリア・ドル | 75.02 | 2.0 | ▲1.8 | 10.5 | ▲0.0 | ▲14.2 |

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

▶当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。

各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。